

保育おおさか

平成20年7月1日 第395号

大阪府社会福祉協議会・保育部会
(大阪府保育協議会)

☎ 06-6762-9001 Fax 06-6768-2426



192園から225名が出席

平成20年度 保育部会総会

保育所制度改革に積極対応 潜在的保育需要にスピード対応 質向上へ計画的組織づくりが必要

―記念講演で強調

保育部会総会が5月30日、大阪社会福祉指導センターで開催されました。第1部では、平成19年度事業報告・収支決算、平成20年度事業計画・収支予算が承認されました。事業計画では、地域貢献事業が昨年度の「準備」委員会から今年度、具体的に事業を展開する「推進」委員会として名称変更し、新たな取り組みを始めることが決まりました。また、保育所保育指針の改定による研修会の開催、急速に変わりつつ

ある保育所制度改革正に伴う勉強会の開催などが新規事業計画としてあげられました。第2部では「包括的な次世代育成支援と保育所の近未来」保育制度改革の波をどう理解し対応するか」をテーマに、有限会社遊育代表取締役の吉田正幸氏が記念講演されました。

記念講演要旨

次世代育成支援の基本認識として、子どもを取り巻く状況、環境に左右されることなく、すべての子どもの健やかな育ちの支援がある。乳幼児期への投資が未来の社会基盤の安定へと繋がるのはいうまでもない。

また、市場原理を介入させずに必要で均一なサービスが利用できること、年齢を問わず連続性をもった支援をすることが求め

られる。サービスの量、質を保つには財源確保が課題だが、潜在的保育サービス需要にスピード感を持って対処し、一定の質を有する職員の育成体制を整備しなければならぬ。

新待機児童ゼロ作戦は保育の外的改革で、新雇用戦略のための経済諮問会議が主導している。今後の労働力の維持、確保が主な要因である。

財源としては厚生労働省と文部科学省の予算を統合した「こども交付金」を導入し、認定子ども園の整備を求めている。保育側もこれを包括的にとらえ内的改革が必要だろう。



吉田正幸氏

大きな変化として保育指針改定があげられる。今回の指針改定の一歩の変更点は、告示化により法律的效果をもったことにある。これは園の規範性を示すもので、数値として表れない保育内容の最低基準ともいえる。細部は各園の考え方、保育の取り組み方に特色が出るため、保育士の力量が問われ、各園の色が明確に出てくるのではないだろうか。

このため、経営者の視点から今回の改革を捉えるならば、保育士個人の技量や感覚に頼らず、園全体の質の維持、向上を図る計画的組織づくりが必要となる。

今後の保育園のあり方は「法人の目的を行う手段として施設がある」という大きなスタンスの考えで保育を捉えなければならぬ。公費で運営されている以上は公共性、永続性、公益性を自ら証明し、保育園が子どもの育ちにいかに関与しているかという根拠を社会に示していくことが大切である。

(編集委員 H・M)



中国で大地震が起きました。思い出すのは阪神淡路大震災です。あの時はまだ寝ている時間でしたが、窓が激しくガタガタと音がし、びっくりして飛び起きた記憶があります。大きな太鼓を耳元で激しく鳴らされたようでした。

今回の中国の地震はその規模をはるかに超え、二〇〇キロメートルの断層が動いたらしく、とても恐ろしく感じます。日本でも今後数十年後に東海、南海などの地震の可能性があり、一度に連鎖的に発生すれば震度8以上の超巨大地震になるそうです。

そう考えると、日々地震が起きた時にどうするか考えておかなければいけません。寝ている時や仕事をしている時、どのように避難するか？どこにみんなが集まるかなど話し合っておく必要があります。阪神淡路大震災後に準備したのですが、災害時に持って出る非難袋を今一度整理し直し、揃えておかなければいけないと思っています。

(編集委員 K・M)

こども環境学会「デザイン賞」を受賞したオープントイレ 共同募金助成で改修工事 —門真市・おおわだ保育園—

門真市の「おおわだ保育園」は、平成17年に「赤い羽根共同募金助成金」で1・2歳児クラスのトイレの改修工事を実施、翌年度にこども環境学会「デザイン賞」を受賞されました。

「リラックスできる

楽しいトイレ」に

「子どもたちが初めて



履き替えいらずで自然に出入り

「トイレと一体感・明るく安心できる空間」
既存トイレにはさまざまな問題がありました。

使う場所に『汚いイメージ』をもたせたくないですね」と園長の馬場耕一郎先生。
「トイレ＝汚い場所」という意識がトイレを保育室から隔離し、排泄そのものをマイナスイメージに印象づけてしまっています。「トイレのイメージを変えたかった。園児には暗くて怖いため早く出たい所、保育士にとつては子どもたちが汚さないよう神経を遣う所というイメージでした。それをリラックスできる楽しいトイレに」というのが改修の動機になっています。

①身体がすっぽり入る小便器。足が地につかない洋式便器で不安定な姿勢のまま排泄。
②トイレ内下履きの履き替えに時間がかかり漏らしてしまうことも。服を濡れたタイル床につけないよう神経を遣う。
③汚れた空間という前提で保育室と切り離れた設計のため、保育士が扉を開けていないと用を足せない子どもが多い。閉鎖的なトイレは早く出たい怖い場所になっている。

改修後のトイレは保育室から隔離された空間ではなく、保育室と一体感を持たせた設計になっており、トイレの中は明るくなりました。

トイレから保育室の友だちや保育士が見えるた



座る向きに合わせトイレトーパーを設置



月1、2回の「トイレ会議」の実施

「トイレ会議」から業務の見直しへ

改修にあたっては、現場で働く職員の意見が多く取り入れられました。設計期間中はコンサルタントを交えて保育士による「トイレ会議」が行われ、模型で検討したり、実際に段ボールで壁を作

め、子どもたちが安心して排泄ができます。仕切りの壁も保育士の身長より低く設定され、床は保育室と同様にフローリング仕上げに。以前の定期的な清掃から、気づいた時に拭き掃除ができるなど日頃から清潔に保つことができます。このトイレ改修によって園児の排泄の自立が半年も早くなったそうです。

大阪府認定の育児相談員の成り立ちに触れながら、今後、民間保育園で取り組む事業について説明、「さまざまな問題を抱えた方の解決の糸口として保育園が一

6月4日に開催された「主任児童委員制度創設15周年記念講演会」(会場・クレオ大阪中央)で、保育所における地域貢献事業について地域貢献事業推進委員会の熊井茂治委員長(保育部会副部長)が、報告を行いました。

役を担えれば。事業が本格的に推進された時には、主任児童委員さんとの連携が不可欠。最大限の協力をした

り実寸大の空間を体験したりーといったシミュレーションを繰り返し活発な議論が行われました。また、その中で、園児の排泄時、保育士の動きに無駄はないか、備品の置き場所は適当かなど業務内容の見直しにもつながりました。意見が自由に出せることにより、職員同士のコミュニケーションも深まったそうです。平成19年度には0歳児の保育室内トイレの改修

● 地域貢献事業推進委員会 ●

主任児童委員との連携が不可欠

参加者からは「地域にこのような貢献事業を行う民間保育園があることは心強い存在」、「それぞれの情報交換でさらに地域に根ざした福祉活動が展開できるのでは」との意見が出ました。

も手掛けられ、今後は3歳児のトイレの改修も検討されています。

お知らせ

NHK教育テレビ「すくすく子育て」の中で「トイレトレーニング特集」というテーマでおおわだ保育園が紹介されます。
放送予定日 8月16日(土)
21:00~21:29. 再放送 翌週金曜日13:20~13:49



「玉川橋保育園」一高槻市

シリーズ 食育

乳児期に育てる噛む力
消化のしくみや栄養の話など
よく話し合い進める基本指導

考え、離乳食後期には噛み応えのある「きゅうりのスティック」、おやつには「固めのクッキー」などを加えています。保護者から家庭でのようすを聞くなど、時にはアドバイスもしながら進めています。幼児クラスでは、今年度は「旬のものを食べよ

う」と題し、子どもたちがえんどう豆の鞘から豆を取り出し、給食の豆ご飯に使ったり、いちごジャム作りも体験しました。スーパードに行けば年中見られる食材にも、子どもたちが収穫の時期や旬があることを知り、実際に食材に触れる機会も作っています。

食の献立を子どもたち全員で復唱する、食事中的話の中にも今日の食材の話を入れてみる、お箸の指導は一人ひとりの成長に合わせて行うなどの基本的な保育が大事であることを保育者が話し合いながら進めています。



人形を使い栄養素の話

しくみで消化されるのか、牛乳や魚の骨に含まれるカルシウムが人の歯や骨になることなど、栄養素に関するお話をすると子どもたちはとても真剣に聞き入っています。

保育の基本方針に「食の安全性に留意し、子どもたちに食に対する興味や重要性を知らせ、子どもの健康を培える保育をする」を掲げ、食育に取り組んでいます。乳児の離乳食の進め方については、調理師・管理栄養士・保育士が協力し、給食を食べている子どもにも接しながら、成長に合わせた離乳食メニューを考えています。乳児期に噛む力をしっかりとつけることや手づかみで食べる感触・楽しさを味わうことが、あごの発達や噛む力となり、食べる意欲につながると



みんなで収穫

園庭で栽培しているきゅうりやししとうの収穫も皆で楽しみ、試食しました。採りたての野菜は大変甘くて、おいしさに少し驚きも感じたくらいです。給食時の取り組みとして「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶や給

食の献立を子どもたち全員で復唱する、食事中的話の中にも今日の食材の話を入れてみる、お箸の指導は一人ひとりの成長に合わせて行うなどの基本的な保育が大事であることを保育者が話し合いながら進めています。保育の中で、人形を使い、食べ物がどのようなに電気ショックを与え、震えを取り除き、心臓の動きを正常に戻すことを試みる医療機器です。救命の連鎖である①早期119番通報②早期心肺蘇生法③早期除細④早期二次救命処置を行なう中でAEDを正しく使用することができま

新たに育児相談員66名

5月30日の保育部会総会で、新たに66名の育児相談員が大阪府の認定を受けました。認定証は、大阪府・中野昇児童家庭室長から、代表して和泉まゆみ保育園・田所敦子さんにおくられました。平成10年度からの認定証交付者の累積数は962名となりました。



研修を終え、はれて認定

AED設置促進補助金の申請を受け付けております

大阪府内の民間社会福祉施設に対するAED（自動体外式除細動器）設置促進補助事業（3カ年事業の最終年度）の申請受付を6月から始めています。この事業は機器購入費の半額を補助（上限12万円）するもので、

政令指定都市・中核市を除く民設民営の社会福祉施設が対象です。これまで本補助事業でAEDを設置された400施設のうち、約半数が保育園です。AEDは突然の心停止の際に出現する心室細動

に電気ショックを与え、震えを取り除き、心臓の動きを正常に戻すことを試みる医療機器です。救命の連鎖である①早期119番通報②早期心肺蘇生法③早期除細④早期二次救命処置を行なう中でAEDを正しく使用することができま

交付決定した施設へは施設利用者や地域の方々にAEDを周知していただきます。昨年年度購入を見送られた施設も再考ください。申請の締め切りは7月31日です。詳しくは施設福祉部、白神（しらが）までお問い合わせを。※なお、18年度、19年度に補助金を受けておられる施設は対象となりません。

ブロックだより

北摂

改めて地域貢献を
考える

―総会後の研修会―

北摂ブロック保育部会
総会及び研修会が5月19
日に日航ホテル茨木で開
かれ、平成19年度事業報
告・収支決算・平成20年
度事業計画・予算を満場



民秋 言 教授

一致で採択されました。
研修会では、北摂ブロッ
ク会長の熊井茂治先生が

「地域貢献事業とは」を
テーマに講義、地域貢献
事業の必要性を強調され、
改めて地域に何ができる
のか、自ら問うきっかけ
となりました。

また、白梅学園大学の
民秋言教授が「保育所
保育指針の改定が問うも
の」と題して講演されま
した。保育所の役割を様々
な方面から分析された結
果や改定の基本的な考え
方について解説、保育所
の特性である「養護」と
「教育」について、「教育」
の部分重要視する改定

保育園をたずねて

363

八尾市

マリア保育園

24時間保育など地域社
会のニーズに応える

「聖母マリア」が子ど
もを抱えているやさしい
イメージを園名に、社会
福祉法人厚生博愛会によっ
て平成16年、定員90名で
開設されました。

地下鉄八尾南駅から徒
歩で1〜2分。周辺には
工業団地が建ち、すぐそ
ばに八尾空港もあるのだ
すが、十分なスペースを
確保された保育園の駐車



場に隣接して公園があり、
落ち着いた、閑静な住宅
地の雰囲気をかもし出し
ています。

現在、病児・病後児保
育や24時間保育も実施さ
れています。まだまだ利

用状況は少ないとのこと
ながら、前向きな取り組
みを展開中です。

このように「地域社会

が求めるニーズへの取り
組み」と「子どもたちに
すくすく朗らかに育って
ほしい」という大西理事
長の保育方針に、他市か
らの入園希望者も多いと
お聞きしました。これら
に対応するためにも、次
年度から定員増に取り組
まれるということです。

(編集委員 S・S)

北大阪

保育制度改革の「特別調査
検討研究委」が発足

―総会―

北大阪ブロックの総会・

研修会が6月2日、大阪
府社会福祉会館で開催さ
れ、総会では事業計画と
して「保育制度改革特別
調査検討研究委員会」の
設置が提案され承認され
ました。

開会に先立ち、1月に
ご逝去された故濱田晋前
会長を偲び黙祷を捧げた
あと、亀井信昭会長はあ
いさつで、「府財政再建
PT案が提示されたり、
国の制度も直接契約への
移行が予測されたり、激
しい情勢になっています。
各市の情報交換を密にし、
諸問題に対応できる組織



高岡氏から課題を提示

あ3年前の12月23日に
1本の電話が……。東
大阪市立保育会会長、
西岡成典先生が脳梗塞
で倒れられ、東大阪救
急救命センターで治療
中とのこと。一瞬目の
前が真っ暗
になりました。
21日には、日航ホ
テルで大阪
府との意見
交換会に出
席。夜には八尾ロータ
リークラブの忘年会が
あり、呑み過ぎないよ
うにと別れた矢先の出
来事でした。1月4日
に面会することができ、
涙が流れてきました。



先生は東大阪私立保育
会を永年にわたり支えて
こられた功労者です。責
任感が強く、心優しく、
頼まれごとには嫌な顔一
つせず、東大阪の保育の
発展に尽力されてきまし
た。

昨年初めから
保育園の机に座
り、日々園児た
ちと交流、その
ことがなにより
リハビリにつな
がっている様子です。一
日も早く回復され、また
酒でも呑みながら楽しく
語り合える日を仲間たち
が待ち望んでいます。頑
張れ！ 成典先生。
(Y・T)

発行所
大阪府中央区中寺1丁目1-54
大阪府社会福祉協議会
保育部 会
大阪府保育協議会
TEL (06) 6762-9001
発行人 男
永野 治
編集人
宮 武 勲